

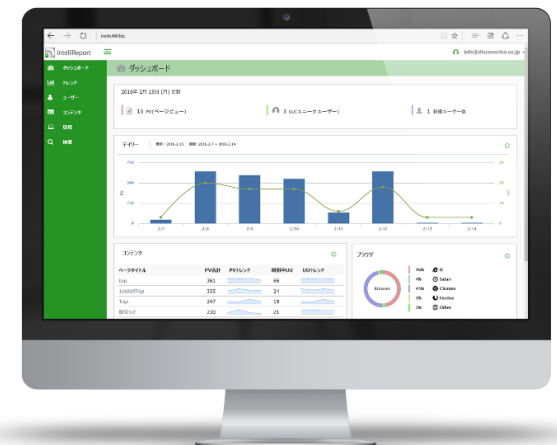
Office 365 セキュリティ対策

Office365は企業を支える業務アプリケーションだからこそ
万全なセキュリティ対策は必要不可欠

www.discoveries.co.jp/solutions/security



Discoveries InSite
インテリレポート



本資料の利用規約

- 本資料は、ディスカバリーズ株式会社のナレッジやノウハウ・経験値からお客様にとって有益であると考える情報をご提供することを目的にしています。
- 本資料の著作権はディスカバリーズ株式会社に帰属します。
そのため内容の無断転載、無断販売は著作権法に違反しますので取り扱いにご注意ください。



本資料の内容

お客様の課題	3
インテリレポートによるクラウドセキュリティ対策.....	4
レポートの種類・取得するログデータ.....	7
インテリレポートが取得する SharePoint Online ログデータ.....	9
Office 365 監査ログデータの中で、インテリレポートが取得するログデータ.....	10
お客様事例.....	11
料金プラン.....	12
他社製品との比較.....	13
無料体験版のご案内.....	14
よくある質問.....	15
アフターサービスの紹介.....	18

お客様の課題

Office365 は企業を支える業務アプリケーションとなるため、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)を取得して維持していくためにも万全なセキュリティ対策が必要不可欠です。

ディスカバリーズでは、独自の手法による SharePoint アクセスログ収集に加えて Office 365 標準の監査ログと連携し、情報共有サイトのページ、ファイルやアプリのログを統合・網羅するレポートニングによって高いセキュリティレベルを維持するソリューションを提案しています。

お客様の課題

- ✓ ISMS を取得して維持するために、SharePoint のセキュリティ対策を取る必要がある
- ✓ 監査証跡としてログを保存する必要がある
- ✓ 業務上不必要な不正アクセスを識別したい

インテリレポートによるクラウドセキュリティ対策

POINT 1



「監査ログ」と「アクセスログ」を組み合わせ
Office 365 のセキュリティを強化

課題： ✓ Office365 監査ログでは、ファイル毎のアクセス数が取得できるが、社員までは特定できない。
✓ どのようなルートで、取得すべきでない情報に辿りついたのかが特定できない。

インテリレポートが解決：

インテリレポートは、SharePoint Online サイトのページやリストなどのアクセスログに加えて、Office365 監査ログを取得します。(※)
そのため、アクセスした社内サイト、ページ、リストアイテムのログが統合され「いつ、だれが、どこから、何に」アクセスしたかまでが明らかとなります。

ファイルを対象とした「監査ログ」と、サイトを対象とした「アクセスログ」を組み合わせによる、SharePoint Online ユーザーの動線や動向を把握した網羅性の高いレポーティングは、ISMSの取得と維持や、監査対応において役立ちます。



※ 取得するデータ一覧 P.9 参照

インテリレポートによるクラウドセキュリティ対策

POINT 2



Office 365 監査ログを定期的取得して保持

- 課題：
- ✓ Office365 標準機能ではログの保持期間に制限があり、期限を過ぎたデータは削除されてしまう。
 - ✓ データ量にも制限があるため、取得と保持がしにくい。

インテリレポートが解決：

Office 365 監査ログデータから、例えばファイルを閲覧・ダウンロードしたユーザーを特定することができます。しかし、標準機能ではログの保持期間やデータ量に制限があり、定期的にログを格納するためにはプログラムを開発する必要があります。

これを解決するのがインテリレポート。

Office 365 監査ログと連携して定期的にデータを収集し、一定期間のデータを保持します。保持されたログデータは、万が一問題が起きたときの監査証跡として必要となります。



インテリレポートによるクラウドセキュリティ対策

POINT 3



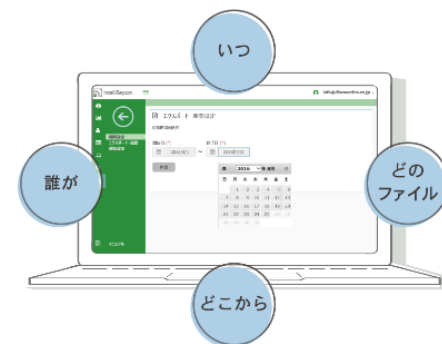
社内ポータルから情報漏えい起きるリスクに対応

- 課題：
- ✓ 認証システムだけでは、認証を通ったユーザーの情報持ち出しで発生する情報漏えいが防げない。
 - ✓ 業務上不必要な目的外アクセスや不正アクセスを識別したいが・・・。

インテリレポートが解決：

会社の情報資産を守ることは、事業継続性のリスクを回避するためにも大変重要な言うまでもありません。

いつ、どの社員が、どこから、何を閲覧したかのアクセス履歴を保存して必要な時に出力できるインテリレポートは、業務上不必要な目的外アクセスや不正アクセスを識別できるため、事前に適切な体制をとるための判断材料となります。また、ログの取得は内部不正への抑止力となりえます。



レポートの種類 ～セキュリティに役立つ～

独自の手法による SharePoint アクセスログ収集に加えて Office 365 標準の監査ログと連携し、情報共有サイトのページ、ファイルやアプリのログを統合・網羅するレポートニングを提供します

ランキン グ	ファイル名	フォルダ名	トップレベルサイト名	閲覧数	トレンド
1	XXXXXX.xlsx	Sharepoint Documents	share	5	↑
2	Sharepoint Designerで フォーム作成方法.docx	XX - 〆〆〆〆〆〆	share	4	↑
3	XXXXXX ラジオ対応_20160 120 (返信要件含む).pptx	XX ラジオ対応	share	3	↑
4	022415_1532_interviewwi 10.jpg	photos	XXXXXX sharepoint.com? ver=1000&height=0	1	↑
4	test.pptx	XX のトランスパレncyフォルダ 内6-47414	share	1	↑
4	XXXXXX	S4	share	1	↑
4	XXXXXX ラジオ対応_20160 128 (返信要件含む).pptx	XX ラジオ対応	share	1	↑
4	アサシンス販売不具合.xlsx	XX - 〆〆〆〆〆〆	share	1	↑
4	XX Webページページダスト ケース.xlsx	XX - 〆〆〆〆〆〆	share	1	↑

Office 365 監査ログ連携

✓ファイル閲覧数ランキング

Office 365 の監査ログに連携し、ログデータを必要な期間まで保存して分析するツールとして利用できます。Office 365 標準ではファイル単位でのみ取得する情報も、インテリレポートを追加することでユーザーのアクセス動線までが明らかとなります。

作成日	ファイル名	ファイルサイズ	
2016/04/18	20160403_20160413_accesslog.zip	0.00156MB	ダウンロード
2016/04/18	20160101_20160406_accesslog.zip	0.0577MB	ダウンロード
2016/04/18	20151201_20160302_accesslog.zip	0.0264MB	ダウンロード
2016/04/15	20160401_20160414_accesslog.zip	0.00156MB	ダウンロード
2016/04/15	20160301_20160331_accesslog.zip	0.07425MB	ダウンロード
2016/04/15	20160301_20160302_accesslog.zip	0.00078MB	ダウンロード
2016/04/14	20160404_20160408_accesslog.zip	0.00156MB	ダウンロード
2016/04/14	20160404_20160406_accesslog.zip	0.00141MB	ダウンロード
2016/04/13	20160301_20160317_accesslog.zip	0.0141MB	ダウンロード

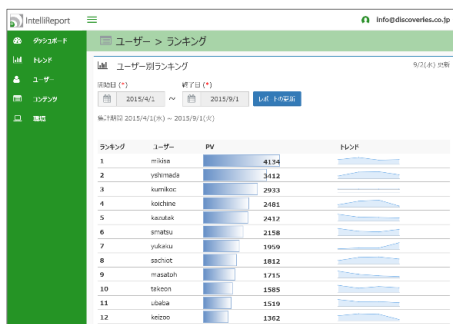
エクスポート

✓期間設定
✓エクスポート履歴
✓通知設定

アクセスログデータは CSV 形式で出力できるため、他のデータと連携させた多面的な分析も可能です。例えば組織情報とクロス分析すると、役職や部署単位での閲覧率も把握できます。

レポートの種類 ～活用に役立つ～

アクセスログからは Office 365 のユーザーの利用傾向が一目瞭然。
効果的な改善施策や目標を検討するための判断材料として必要不可欠です。



ユーザー属性分析

- ✓ユーザー別アクセス
- ✓リピーター率
- ✓アクティブユーザー

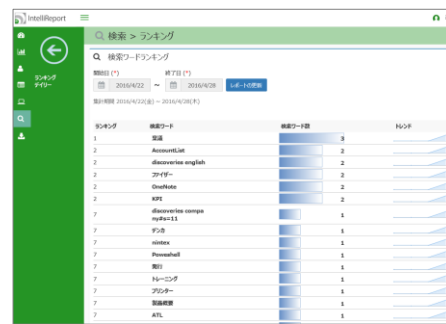
サイトの活用度を従業員単位・組織単位で特定することができます。活用度に応じたコンテンツ企画や利用向上に向けた取り組みなど、よりSharePoint Online サイトの活用を進める施策の計画に役立ちます。



コンテンツ分析

- ✓コンテンツ別アクセス
- ✓上位コンテンツ

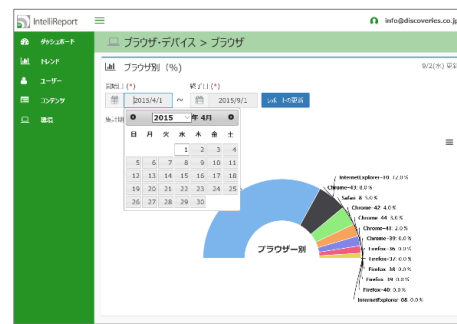
アクセスが集中するコンテンツ、特定の従業員がアクセスする傾向にあるコンテンツが一目瞭然のため、必読情報などへの導線設計やコンテンツ戦略に生かすことができます。



検索ランキング

- ✓ランキング
- ✓デیلیー

検索されたキーワードをレポートします。社内でのキーワードトレンドから求められている情報が把握でき、さらには市場や顧客のニーズを知るヒントとなります。



ブラウザ/デバイス

- ✓ブラウザ別
- ✓デバイス別

オフィスのPCからアクセスしたのか、移動時にスマートデバイスからアクセスしたのか、どのブラウザを使用したのか、サイトの利用の仕方やその変化を把握し、サイトの最適化に役立てます。

インテリレポートが取得する SharePoint Online アクセスログデータ

標準的な アクセスログデータ

ページURL
ユーザーエージェント
リファラーURL
接続IPアドレス

インテリレポート独自に取得する アクセスログデータ

ページ タイトル	SharePoint のページ名が記録されます
サイト タイトル	SharePoint のサイト名が記録されます
ユーザーID	アクセスしたユーザー(Office 365 アカウント)が特定できます
スクリーンサイズ	ブラウザをどのように開いて閲覧したのか確認できます
OS種別	ユーザーエージェントから種別を分類します
ブラウザ種別	ユーザーエージェントから種別を分類します
デバイス種別	ユーザーエージェントから種別を分類します
クッキーID	IR独自のクッキーIDを記録することで、連続したアクセスを判別できます

インテリレポートが取得するOffice365監査ログデータ

ファイルとフォルダーのアクティビティ

・アクセス
・チェックイン
・チェックアウト
・コピー
・削除
・チェックアウトの破棄
・ダウンロード
・変更
・移動
・名前変更
・復元
・アップロード

共有とアクセス要求のアクティビティ

・アクセス要求の承認
・共有の招待の承諾
・会社の共有可能なリンク作成/使用/削除
・アクセス要求の作成/拒否
・匿名リンクの作成/使用/更新/削除
・共有の招待の作成/取り消し
・ファイル/フォルダー/サイトの共有・解除

同期アクティビティ

・コンピューターによるファイルの同期許可/禁止
・コンピューターにダウンロード
・ファイルの変更のダウンロード
・ドキュメントライブラリにアップロード
・ファイル変更のドキュメントライブラリにアップロード

サイト管理アクティビティ

・適用除外ユーザーエージェントの追加/変更
・サイトコレクションの作成
・サイトコレクション管理者の追加
・SharePointグループにユーザー/グループの追加/削除
・ユーザーにグループ作成の許可
・グループの更新/削除
・共有ポリシーの更新
・グループの作成
・送信先接続の作成/削除
・ドキュメントのプレビューの有効
・レガシーワークフローの有効
・Officeオンデマンドの有効
・RSSフィードの有効
・人の検索の結果となるソースの有効
・サイトのアクセス許可の変更
・サイト名の変更
・サイト管理者のアクセス許可要求
・ホストサイトの設定

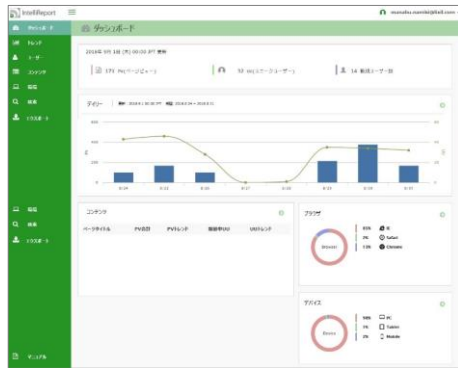
参照：マイクロソフト サポートサイト「[Office365 のセキュリティセンターとコンプライアンスセンターで監査ログを検索する](#)」2016年10月17日現在

お客様事例



株式会社LIXILでは、R&D本部で SharePoint による社内ナレッジの蓄積を目指し、部門ポータルを構築。リリース後のアクセスログをインテリレポートで収集・分析した結果が、予想以上に低いことが明らかに。

サイト公開の周知だけでは不十分であり、サイト公開後の継続的な取り組みが重要であると考えたLIXILは、ディスカバリーズとともに活用支援に力を入れ始めました。サイトを周知する活動として、本部3拠点を回る社内研修や、動画コンテンツによるセルフトレーニングなどの施策を回し、運用開始から1年足らずの間に、部門ポータルの対象300ユーザーのうち、93%が利用するまでに成長させることに成功しました。



『インテリレポートという「誰がSharePointにアクセスしたか」まで分かるログの取得・分析サービスは、私たちが自由にログを取り出して活用できるように、サービスが切り分けられています。』

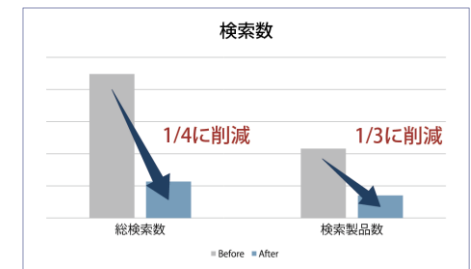
株式会社LIXIL R&D本部
研究戦略部 技術戦略グループ
主幹 並木 学 氏



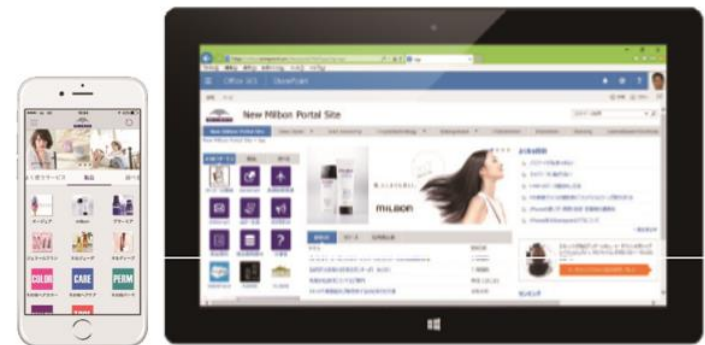
株式会社ミルボンでは、情報検索で迷わないポータルを目指し SharePoint Online をデザインを InSite で一新。担当部署への問い合わせも激減する成果がでた一方で、活用傾向をインテリレポートを使って効果検証した結果、キーワード検索を利用する件数が1/4に削減。デザインによるナビゲーション効果で、迷わず必要な情報にたどり着けていることがわかり、投資対効果を検証することに成功しました。



経営戦略部 情報企画グループ
情報企画室 岡崎 鉄夫 氏



『整理されているからユーザーが使う、ユーザーに使われるから発信者はさらに情報を投稿する。ポジティブなサイクルができてきています。』



インテリレポートの料金プラン

トライアル	スタンダード	エンタープライズ	エンタープライズ
1,000名まで	1,000名まで	5,000名まで	5,000名以上
30日間 無償	月々 100,000円 /テナント	月々 150,000円 /テナント	別途お見積り

Google Analytics との比較

カテゴリ	レポート名	レポート概要	インテリレポート	Google Analytics
トレンド	日別	日別 PV、UU	●	●
	時間帯別	時間帯別 平均PV、平均UU	●	×
	ウィークリー	曜日別 平均PV、平均UU	●	×
	月別	月別 PV、UU	●	×
ユーザー	ランキング	ユーザー別PVランキング TOP50	●	×
	カテゴリ別	アクティブユーザー数	●	●
コンテンツ	ランキング	月間 PVランキング	●	●
	ランキング	月間 UUランキング	●	●
	コンテンツ全体	TreeMap	●	●
ブラウザ	ブラウザ別	ブラウザ別構成比	●	●
デバイス	デバイス別構成比	デバイス別構成比	●	●
組織別	組織別 アクセス数	組織別 PV	●	×
検索クエリ	検索クエリ	月別 検索クエリ数	●	●

お試しください！30日間無料

TryInSite 無料トライアル

30日間の無料体験ができます
導入前にぜひ操作性をお試し下さい

お客様の Office 365 環境に設置してから
30日間のアクセスログレポートを収集します

お申込みは

http://discoveries.co.jp/register_ir



よくある質問

導入に関するご質問

Q: インテリレポートを導入するとSharePointのパフォーマンスに影響がありますか？

A: ログはSharePoint外のストレージに記録され蓄積されます。そのためSharePointのパフォーマンスには影響がありません。

Q: 導入時にユーザー側ではどういった操作が必要ですか？

A: Appファイルをアップロードし、別途発行されるIDを入力してアクティベーションしていただきます。当該操作はサイトコレクションごとに実施していただく必要があります。

Q: レポートサイトのログインユーザーは何ユーザー発行できますか？

A: 1ユーザーです。

Q: セキュリティに問題はありますか？

A: レポートサイトはSSL通信に対応しており、安心してご利用いただけます。

Q: 利用する際になんらかの制限がありますか？

A: ログを記録するサイトコレクションごとに一定のリソースクォータの空き（10以上推奨）が必要です。SharePointの機能制限は原則ございません。利用環境等については製品サイトをご覧ください

Q: レポートはどのタイミングで更新されますか？

A: 日次で更新されます。

Q: レポートサイトのログインパスワードを忘れた場合はどうすればよいですか？

A: サポートデスクに問い合わせください。初期パスワードにリセットします。

Q: サイトコレクション別でアクセス分析できますか？

A: レポートはテナント全体で分析された内容となります。

よくある質問

取得するログに関するご質問

Q: ユーザログイン/ログオフのログは取得できますか？ 誰がいつログログインしたのか、情報の取得に成功したかどうか分かりますか？

A: 現時点では取得できませんが、ユーザー単位のセッションを取得できるよう検討しております。(2015年3月時点) 実現されれば「誰がいつログインしたのか。情報の取得に成功したどうか」が解析できます。またこの情報はブラウザのセッション単位で分かるようになる予定です。情報の取得に失敗した場合の結果および理由までは取得できません。

Q: ドキュメントのアクセス数のログが取得できますか？

A: OfficeファイルはOffice Onlineで表示した場合ログが記録されます。他、PDFや画像、動画はブラウザで開いた場合はログが記録されます。上記はいずれもクライアントアプリで開くとログが記録されません。

Q: ドキュメントの変更や削除、アップロードやダウンロードのログが取得できますか？

A: ドキュメントの変更や削除、アップロードやダウンロードのログは取得できません。アップロードやダウンロードなどの操作に関する情報は、将来的に取得・出力機能を追加することを検討しています。

Q: ユーザー単位で時系列に、どのファイルを閲覧、操作したログを取得できますか？

A: ユーザー単位で時系列に、どのファイルを閲覧したかというログを取得することができます。操作に関する情報は、将来的に取得・出力機能を追加することを検討しています。

Q: ユーザー単位で時系列に、どのファイルを閲覧、操作したログを取得できますか？

A: はい、Office365 監査ログ機能によるデータを保存する機能を利用することで取得可能です。

Q: ログを自由に閲覧することができますか？

A: はい、アクセスログをCSV形式（さらにZIP形式で圧縮されます）でダウンロードして閲覧できます。

よくある質問

エクスポート機能に関するご質問

Q: アクセスログのエクスポートは過去どれくらいまで可能ですか？

A: ご契約期間中（当日除く）のアクセスログはエクスポート可能です。ただし、一度にエクスポートできるログ件数に制限があるため、制限を超過する場合は期間を短くするなどの調整をしてください。監査ログデータのエクスポートは、今後提供する予定です。

Q: アクセスログのエクスポートはSharePointのパフォーマンスに影響がありますか？

A: SharePointのパフォーマンスに影響ありません。ただし、エクスポートするログ件数によって時間がかかるため、完了すると自動で指定したメールアドレスにメール通知する機能を用意しています。

Q: エクスポートしたCSVファイルをExcelで開くと文字化けする列がありますが直せますか？

A: 文字コードをUT-8に変換して保存してExcelで開くと直ります。詳細は別途提示するユーザーマニュアルを参照してください。

監査ログ連携機能に関するご質問

Q: ドキュメントのアクセス数のログを取得できますか？

A: はい、監査ログとの連携により取得可能です。監査ログの利用設定には、全体管理者権限が必要です。

Q: ドキュメントの変更や削除、アップロードやダウンロードのログを取得できますか？

A: はい、監査ログとの連携により取得可能です。監査ログの利用設定には、全体管理者権限が必要です。

Q: ユーザー単位で時系列に、どのファイルを閲覧、操作したログを取得できますか？

A: はい、監査ログとの連携により取得可能です。監査ログの利用設定には、全体管理者権限が必要です。

Q: ログを自由に閲覧することができますか？

A: アクセスログをCSV形式（さらにZIP形式で圧縮されます）でダウンロードして閲覧できます。監査ログのダウンロードは将来的に可能となる予定です（時期未定）。

その他のご質問

Q: ダッシュボードやコンテンツランキングのタイトルが文字切れします。修正できますか？

A: SharePointの既知の問題であり、現時点で回避策はありません。ただし、レポートの集計には影響しません。

ディスカバリーズの支援体制 ～アフターサービス～

「構築した社内ポータルを、より価値のあるプラットフォームにしていきたい。」
技術面のみならずコンテンツやコミュニケーションの課題までトータルにサポートするディスカバリーズのアフターサポートは、運用を開始した後の不安やちょっとした相談窓口としてご利用いただいています。

お客様の声：



株式会社TMJ
事業推進本部 基盤構築部
AP開発課 近藤 豊 氏

『自社ではまだ SharePoint Online や情報共有
そのものに対するノウハウや知見が足りないと感
じています。そのためアフターサービスを利用し、技
術的なサポートはもちろんですが、問い合わせの
半分ほどは使い方についての相談もさせていただ
いています。そういった技術的な部分以外でもサ
ポートしていただけるため、『何かあったら一旦ディス
カバリーズに聞いてみよう』と気軽に尋ねさせ
ていただいています。』



株式会社LIXIL R&D本部
研究戦略部 技術戦略グループ
主幹 並木 学 氏

『プロジェクト開始当初は『サイトを作れば終わ
り』という感覚も多少あったのですが、ディスカバ
リーズさんと一緒に構築を進めれば進めるほど、
“成果を生むためのロジックが重要”だと理解でき
ました。単なる構築パートナーとしてこちらの要望
を聞くだけではなく、コンサル的な立場から『なぜ、
それをやりたいのか？』と問い直して、私たちの
気付かなかった点まで提案してくれたことは、非
常にありがたかったですね』

テクニカルサポート

ポータル運用サービス

活用支援 コンサルティング

分析・施策立案 課題の整理から活用促進の施策を支援します			✓
定例会議 隔週でお客様先での会議を行います			✓
担当者のアサイン 御社担当をアサインしてお客様の継続的に支援します		✓	✓
アイコン/バナー制作 デザイナーがサイトに実装する図版の制作を行います		✓	✓
ページ/リスト制作 SharePointの標準機能を利用して代理で制作します		✓	✓
ユーザー管理 PowerShellを使ってユーザーの一括管理を代理操作します	✓	✓	
技術 Q&A SharePoint/ InSite の技術的な質問に対応します	✓	✓	

15万円～
(時間で設定)



DISCOVERIES INC.